

図書便り

男女共同参画センター“いこ～る”プラス
(JR長岡京駅直結長岡京市立総合交流
センター6F)は、男女共同参画に関する
約1,600冊の図書を貸出しています。
ぜひご利用ください！



特集

母と娘のちょうどよい距離感とは？

5/29講座
関連の本

私は私。母は母。あなたを苦しめる母親から自由になる本

加藤伊都子/著
すばる舎/刊

実際によく見られる葛藤する母娘のエピソードを題材に、母と娘の関係が悪化する理由や、母が娘に執着する理由等を解説。娘が母から解放され、自分の幸せをつかむための具体的な方法を提案。

新着！

母という呪縛 娘という牢獄

齊藤彩/著
講談社/刊

深夜3時42分。母を殺した娘は、ツイッターに、「モンスターを倒した。これで一安心だ。」と投稿した。18文字の投稿は、その意味するところを誰にも悟られないまま、放置されていた。母と娘の相克を描いたノンフィクション。

新着！

きれいな母を看取れますか 関係が悪い母娘の最終章

寺田和代/著
主婦の友社/刊

親子の縁、切ってもいいですか？関係がわるい母と娘が最後に向き合う機会である「介護」。重すぎる母の介護を、どのようにのりきればよいのだろう。母親との葛藤をかえる人たちに、「あなたはどうしますか」の問いを投げかける。

母・娘・祖母が共存するために

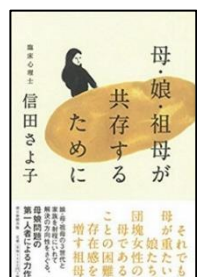
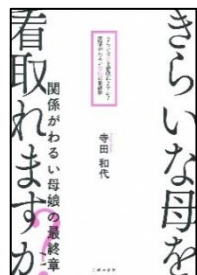
信田さよ子/著
朝日新聞出版/刊

母娘関係の苦しみを、心理的問題に結論付けるだけでなく、家族・世代という視点から、団塊女性に象徴される母親たちの抱える困難さにも言及。著者はこれまで多くの書籍等を発信してきたが、本書は母娘問題の総集編といえる1冊。

母は娘がわからない 子離れのレッスン

イヴリン・S・バソフ/著 村本邦子+山口知子/訳
創元社/刊

女性が「世話をする人」としての役割から抜け出し、娘との間に距離を置き、自身自身の人生にエネルギーを注ぐことを通じて、人間としてより充実し、母親としてより深い愛に到達する方法について考える。





ジェンダー（※）に気づくと楽になる？！

（※）ジェンダーとは社会的・文化的に作られた性別のこと。

新着！

6/29講演会
講師の本

自分も傷つきたくないけど、他人も傷つけないあなたへ

アルティシア/著
KADOKAWA/刊

「これって私が悪いの？」「自意識過剰なの？」傷ついている私は繊細過ぎ？ジェンダーを知ると生きやすくなる。フェミニズムは人生の役に立つ。フェミニズムに出会って長生きしたくなった熟女が送る、爆笑サバイブ術。

新着！

6/29講演会
講師の本

離婚しそうな私が結婚を続けている29の理由

アルティシア/著
幻冬舎文庫/刊

生涯のパートナーを求めて七転八倒し、オタク格闘家と友情結婚。変人だけどタフで優しい夫のおかげで毒親の呪いから脱出。楽しく生きられるようになった著書による不謹慎だけど大爆笑の人生賛歌エッセイ。

失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック

新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム/著
小学館/刊

SNS等で誰もが発信者になる時代。ネット上で、家庭や職場で何気なく使っている言葉や態度で、相手を傷つけることもある。無意識の偏見や男尊女卑、性別役割分業の刷り込みなどの問題点も見えてくる。あらゆる立場の方におすすめ。

女の子が生きていくときに、覚えておいてほしいこと

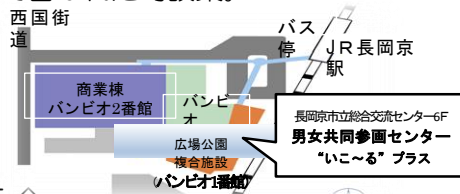
西原理恵子/著
KADOKAWA/刊

2017年に発売以来、30万部を超えるベストセラー。「ダイヤモンド、お寿司も、自分で買おう」「王子様を待たないで」などの名言が大人の女性たちの共感を呼び、「女性のための新バイブル」とも言われている。

ダメをみがく”女子”の呪いを解く方法

津村記久子・深澤真紀/著
紀伊國屋書店/刊

女性が、社会や個人的な関係や同性間の相互監視において求められることは山ほどある。自分に合わないことは無理やり達成しなくてはいいいのではないか。世の中が少しでも働きやすく生きやすい場所になることを願って書かれた対談集。



情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、

本人確認が出来るものをお持ちください。

◇ 編集・発行 ◇

長岡京市男女共同参画センター“いこ～る”プラス
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: danjo-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）

